

地方入厩

生産 ノーザンファーム

繋養 ノーザンファームYearling

入厩予定 北海道または南関東

ク
ロ
フ
ネ
×
ジ
ェ
シ
カ
[
メ
ス
]



179

*クロフネ Kurofune 声 1998	*フレンチデピュティ French Deputy 栗 1992	Deputy Minister	Vice Regent
		Mitterrand	Mint Copy
メス・栗毛 2010年 4月29日	*ブルーアヴェニュー Blue Avenue 声 1990	Classic Go Go	Hold Your Peace
		Eliza Blue	Laredo Lass
ジェシカ 栗 1999	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンバラ	Pago Pago
		Severn Bridge	Classic Perfection
	セシルカット 栗 1992	*サンデーサイレンス	Icecapade
		ダイナカール	*コレラ
			Kalamoun
			State Pension
			Hornbeam
			Priddy Fair
			Halo
			Wishing Well
			*ノーザンテースト
			シャダイフェザー(8)

ポイント

POINT

4月末の生まれで、他の募集馬にくらべて幼く華奢な印象は拭えませんが、この時期の1歳馬を生まれ月の差異を考えずに評価するのは正しくありません。じっくりと本馬を眺めると、肩と骨盤が形成する枠は十分な容積を確保し、骨量に恵まれた四肢は大地をしっかりと踏みしめ、安定した負重ができていくのが分かります。成長の素地は整っており、これから発達してくる肩回りやトモの筋肉、伸長する胸囲を想像してみれば、なかなかの好馬体が浮き上がってくるはず。脚捌きがやや硬めに映るものの、ダート競馬での推進力確保には、脚力を鋭角に伝えるこの構造はむしろ好都合です。

母系

FAMILY

母の父 *トニービン Tony Binは愛国産、全欧古牡馬チャンピオン、伊仏15勝、凱旋門賞-G1。本邦チャンピオンサイアー。【BMS:主な産駒】アドマイヤベガ(ダービー-JPN1)、ハーツクライ(ドバイ シーマ クラシック-G1)、キャプテントウレ(皐月賞-JPN1)、ヴィクトリー(皐月賞-JPN1)、アドマイヤドン(JBCクラシック-JPN1・3回)、ショウワモダン(安田記念-G1)

母 ジェシカは3勝、原町特別(芝1700m)。産駒
フォーチュンガール(06 牝 栗 *バチアー)北海道(公)1勝、中央入着、南関東(公)1勝、
パブリックアフェア(07 牝 栗 キングカメハメハ)1勝、
ソルビアンコ(08 牡 芦 *クロフネ)入着、
レイヴ(09 牡 栗 *タイキシャトル)未出走

祖母 セシルカットは5勝、栗子特別。産駒
ピアチェヴォーレ:4勝、磐梯山特別、原町特別、中山牝馬S-G3 4着
リヴィエラブルー:2勝、瓢湖特別、
オーバルカット:不出走。産駒

ホホワイトピルグリム:5勝、寿S、メルボルンT、高千穂特別、ひめさゆり賞、金鯱賞-G2 3着、都大路S-OP 3着、同4着、日経新春杯-G2 4着、同5着、京都新聞杯-JPN2 4着、

ゴッドエンブレム:3勝、仲春特別、

曾祖母 ダイナカールは最優秀2・3歳牝馬、5勝、オークス、ターコイズS、3歳牝馬S、白菊賞、アメリカJCC-JPN2 2着、阪神4歳牝馬特別2着、セントライト記念2着、桜花賞3着。産駒

エアグルーヴ:年度代表馬、最優秀古牝馬、9勝、天皇賞(秋)-JPN1、オークス-JPN1、札幌記念-JPN2(2回)、大阪杯-JPN2、チューリップ賞-JPN3、マーメイドS-JPN3、いちようS-OP、ジャパンC-G1 2着(2回)、阪神3歳牝馬S-JPN1 2着。アドマイヤグルーヴ(最優秀古牝馬、エリザベス女王杯-JPN1 2回、阪神牝馬S-JPN2、ローズS-JPN2)、ルラーシップ(日経新春杯-G2)、フォゲッタブル(ステイヤーズS-G2)の母

カーリーエンジェル:入着。オレハマッテルゼ(高松宮記念-JPN1)、エガオヲミセテ(マイラーズC-JPN2、阪神牝馬特別-JPN2)の母、ウォータクティクス(アンタレスS-G3)の祖母